

二条中通信

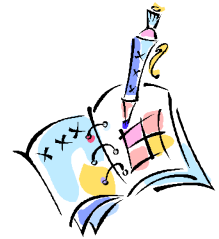
第 14号
二条中学校
H20. 7.18
文責：直江秀樹

*【学校教育目標】学ぶ楽しさを実感し、夢を持ち夢を実現するために努力する生徒の育成

いよいよ夏休みです！

あす、7月19日(土)から8月24日(日)まで、長期の夏休みが始まります。個別懇談会でこれまでの学校生活を振り返り、「自分ができたこと」の評価や、「やろうと思っていたけれどできなかったこと」の反省点が明確になったことでしょうか。そうした課題をこの夏休み中に解決していこうと思っている人が大半だと思います。

しかし、今日までと違い規則正しい学校のチャイムはありません。自分自身で、計画を立て、時間を有意義に使う必要があります。それに、この数日間は大変暑く、地球温暖化が身近に感じられます。このように、熱さも一定の限度を越えると、予定したことに對して意欲が低下したりして、分かっているけれどなかなか実行に移せないことも多いと思います。



そこを乗り越えて、夏休みが自分を大きく成長させたといえるものにするためにどうすればいいか。まずは、「夏休みのしおり」を、ご家族でご覧になって、計画的な学習・部活動・日常生活の過ごし方と体力づくりをしてもらいたいと思います。また、家事の手伝いをしたり、地域活動への参加も積極的にしてもらいたい。また、少しの時間をも生かして読書に挑戦してください。夏休みならではの有意義な時間を過ごしてください。

二条中学校区地生連講演会開催

7月17日は、祇園祭でにぎわう京の町も気温が上昇。暑くて大変な中、二条城北小学校で地生連の講演会が大勢の皆さんに集まってお楽しみいただきまして開催されました。これは、二条中学校と二条城北小学校・正親小学校の教職員・PTAならびに、各学区の少年補導委員会のみなさんが、地域の青少年の豊かな心を育てることと青少年の健全育成を目指して「地域の子どもは地域で育てる」活動の一環として催されました。松井紀子単位地生連会長のあいさつに続き、今回募集した人権標語の入賞者表彰式が行われました。各小学校より1名ずつ。二条中学校からは2名が選ばれました。この4作品は、二条中学校区の各学校や町内の掲示板に張り出されます。

【二条中学校の生徒作品】

生きている それがいちばんうれしいの

1年

ひとりじゃない みんなあなたの サポーター

1年

この後、家庭教育対話主事の神村真知子先生から「双方向に高めあう絆づくり」をテーマに講演していただきました。ご近所のみなさんのごく自然なあいさつや声掛けが、子供心に精神的な安定をもたらしていること。子どものよさをくみ上げて、健やかに育てるためには「親と子、先生と生徒、子供同士、地域のつながり・・・絆」がキーワードであると述べられました。人と人のいい具合の距離感覚を隣近所の付き合いから自然に学んでいた。自分を主張することは大切だが、気遣いを忘れてはいけない。また、親は全部のことを完璧にしようと力まないで、あわてず、心配ないよというゆったりした心の持ちよう、いい親子関係を築いてほしい。など、有意義な研修ができました。